

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すまいる・キッズ		
○保護者評価実施期間	2024年4月1日		2024年9月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25 (回答者数)	23
○従業者評価実施期間	2024年4月1日		2024年9月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年11月8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまの発達ニーズ及び保護者のニーズを客観的にとらえた、児童発達支援計画(個別支援計画)の作成をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・Vuneland II 社会適応尺度(標準化されたアセスメントツール)を用いた聞き取りと評価を全利用者対象に行っている。 ・出生や養育歴、5領域に関する発達の状態を保護者に記入してもらっている。 ・個別支援計画策定会議を行い、チームで検討を行っている。 ・感覚プロファイルを用いた感覚特性の評価を、必要に応じて行っている。 ・サービス等利用計画の内容や事業所独自で、子ども・家族の移行及び要望の聞き取りを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5領域20項目が漏れなく聞き取りできるように、利用申し込み票の見直しを行う。
2	職場の風通しがよく、目標設定と支援の振り返り、活動プログラムの立案に多角的な意見交換ができています	<ul style="list-style-type: none"> ・集団療育では、事前打ち合わせや支援後の振り返りを毎回行い、全員で参加している。 ・個々の職員がチームの一員である意識を持ち、職場作りに参加している。 ・専門性の違う職員間での意見交換を積極的に行うようにしている。 ・お子さまには楽しく通っていただけるように、プログラムの工夫をするようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務のタスク分けを適正に行い、職員の心身が健康でおられるようにしていく。 ・効率的な業務遂行を行い、意見交換の時間確保を継続できるようにしていく。
3	相談や申し入れに対して、その都度体制をとり対応している	<ul style="list-style-type: none"> ・面談の設定や、子育てや発達に関する相談にのり、必要な情報提供を行っている。 ・保育園や幼稚園へ見学に何うと共に見学の受け入れも要望に応じて行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なミニ保護者会を行っていく。 ・声をあげにくい方には、こちらから働きかけるようにしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境整備	生活空間の構造化が十分でない 建物の構造上バリアフリー化が困難	パーテーションを活用して、活動が交差しないようにしていく。転倒や怪我の予防策として、滑り止めや家具ガードを活用していく。リスト化された項目に沿った安全点検を今後も継続していく。
2	家族支援・保護者への説明等	保護者同士の交流の機会が不十分 父母会がない きょうだい同士の交流の機会がない 地域交流が事業所単体では弱い 毎月のおたよりのホームページ移行が浸透していない	法人が行っている事業の紹介等を積極的に取り入れていく。 (こども食堂・保育園地域交流事業・カフェ・オリジナル物品)
3	非常時の対応が保護者全員には周知されていない	個別療育の方への説明に時間をとれていない	個別療育ご利用者の方にも保護者会を開催し、その中で改めて伝えていく。